

Rinnai



CSRLレポート

2016

Corporate
Social
Responsibility
Report 2016

品質こそ我が命 明人

会長メッセージ

リンナイは1920年に創業以来、「熱を通じて社会に快適な暮らし」を届けるという目的のもと、ガス機器をはじめとする熱エネルギー機器を開発・製造・販売してきました。

現在ではお客様のご支持をいただき、日本国内はもちろん、世界16か国・地域に拠点を持つ、総合熱エネルギー機器メーカーに成長することができました。

当社の成長の要因の一つが「品質へのこだわり」です。「品質こそ我が命」を理念とし、国内外でその取り組みを強化。商品の開発・製造から物流、お客様対応、メンテナンスに至るまで、全ての段階で品質向上を図っています。

もう一つの要因は現地化です。日本で培った技術を生かしつつ、現地の社会や文化、消費者ニーズに合わせた提案を行っています。海外法人においてその国・地域の人を経営トップに迎えているのも、現地化を重視した当社の姿勢を表わしたものと言えるでしょう。

リンナイは環境保全、中でも地球温暖化防止に力を注いでいます。

家庭からの二酸化炭素(CO₂)排出量の低減に寄与することをめざし、CO₂排出量の少ないハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE(エコワン)」や高効率給湯器「エコジョーズ」などの普及に努めています。

海外でもその国・地域の状況に合わせて、環境に配慮した商品群の企画開発、製造・販売を行っています。

総合熱エネルギー機器メーカーとして、

リンナイはこれからも「安全・安心・快適で、環境にやさしい」商品の提案を推進し、持続可能な社会の実現に向けて貢献していきます。



代表取締役会長

内藤 明人

CSRレポート2016

●編集方針

当社グループがCSRをどのように考え、実行しているのかをステークホルダーの皆様にお伝えするとともに、より多くの皆様に当社グループの活動へのご理解を深めていただけるよう編集しています。

●冊子とホームページでの報告

当社グループのCSR活動について全体像を分かりやすくお伝えするため、冊子版の「CSRレポート」は、ダイジェスト版として編集しています。冊子に掲載されていないそのほかの取り組み事例、詳細情報、関連データなどはホームページの「CSR・社会・環境」に掲載していますので、本報告書と併せてご覧ください。

●対象範囲

リンナイグループ
(リンナイ株式会社、および国内外のグループ会社)

●対象期間

2015年度(2015年4月1日～2016年3月31日)の実績を中心に、これ以前からの取り組みや直近の活動報告、これ以降の方針や目標・計画などについても一部掲載しています。

●参考としたガイドラインなど

GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン Ver4」

ISO26000:2010

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」

環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」

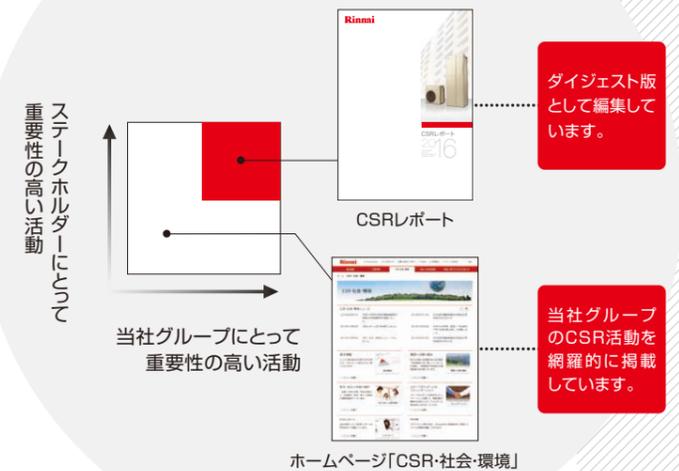
●発行時期

2016年9月(次回:2017年8月予定 前回:2015年10月)

■お問い合わせ先

リンナイ株式会社 管理本部 広報部
〒454-0802 愛知県名古屋市中川区福住町2番26号
TEL:052-361-8211(代) FAX:052-361-8529

当社グループのCSR活動



CONTENTS

- 01 会長メッセージ
- 03 社長メッセージ
- 05 リンナイグループの事業紹介
- 07 企業理念・事業活動ビジョン
- 09 リンナイグループのCSR
- 11 バリューチェーンと環境への影響
- 13 ステークホルダーエンゲージメント
- 15 CSR重要課題(マテリアリティ)の特定
- 17 特集1「環境への取り組み」
- 23 特集2「安全・安心への取り組み」
- 27 ステークホルダーとのコミュニケーション
- 33 マネジメント体制

「安全・安心」「快適・健康」「環境」をキーワードに 総合熱エネルギー機器メーカーとして 持続可能な社会の実現に貢献する

エネルギー自由化を受け、
強固なブランドイメージの確立を図る

リンナイは総合熱エネルギー機器メーカーとしてのブランドをより強固なものにするために、2015年4月から中期経営計画「進化と継承2017」に取り組んできました。その初年度にあたる2016年3月期決算は、国内市場がやや盛り上がり欠けたものの、海外を含めておおむね順調に推移し、グループ連結の売上は3,199億円(前期比8.4%増)、営業利益345億円(同12.4%増)でした。

ご存知のように日本では2016年4月から電力の自由化がスタートし、ガスについても2017年4月から自由化が予定されています。エネルギー業界の競争が激化する中、従来は大手都市ガス会社が担ってきたガス機器の販促活動が削減され、メーカーが負担する可能性も否定できません。しかし我々はこれをマイナスととらえることなく、「当社商品の良さ、品質の高さ」を広く一般のお客様にアピールできる機会と考えています。商品開発とともに、当社のブランドイメージ確立に向けた活動に力を注ぎたいと考えています。

海外では中国に新工場を建設するほか、新たにアラブ首長国連邦(UAE)のドバイに拠点を置くなど、先進国・新興国での活動が活発化しています。海外売上比率は2016年3月期で47.0%。今後も伸びると予測しています。

2016年からガス機器メーカー「ガスター」を子会社化しました。関東での製造・販売拠点の強化を推進していきます。当社とガスターとは長年にわたり一緒にモノづくりを進めており、当社の品質へのこだわりも十分に理解しています。当社とガスターは、ともに「品質こそ我が命」を理念とし、製造・販売を進めていく考えです。

ハイブリッド給湯・暖房システム
「ECO ONE」の普及を促進
家庭からのCO₂排出量削減に寄与

国内市場では、高効率ガス給湯暖房機と電気のヒートポンプを組み合わせたハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE(エコワン)」の拡販に努めます。全戸に「ECO ONE」を設置した低炭素建築物のマンション(22ページ参照)が登場するなど、着実にその台数を増やしています。また、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)のために「ECO ONE」を有力なツールとして採用するハウスメーカーも増加しています。「ECO ONE」や高効率ガス給湯器「エコジョーズ」の普及を推進し、家庭からの二酸化炭素(CO₂)排出量削減に寄与したいと考えています。

また、お客様に安心してガス機器を使っていただくために、長期使用製品安全点検制度への取り組みを強化し、点検件数の向上に力を注いでいます。このほかヒートショックなどを原因とする浴室の事故で年間1万人以上の方が命を失っていることに着目し、浴室や脱衣室と他の部屋との温度差をなくすために浴室暖房が有効であることをPRしてきました(24ページ参照)。この活動も継続的に行っていきます。なお、2014年に不具合が発覚したガスター製造・当社販売の浴室設置型FF式ふろ給湯器の一部機種、2012年に同じく不具合が判明した食器洗い乾燥機の点検・修理、部品交換も引き続き進めます。

一方、海外においては、その国・地域の事情や環境政策に合わせた商品開発・提案を実施しています。きめ細かな対応を通して環境保全に貢献していく考えです。

透明性を確保する経営を実践
女性が活躍する環境整備をさらに促進

マネジメントの強化、労働環境の整備にも力を注いでいます。ガバナンス面では今年6月に社外取締役を1名増員、2名体制としました。外部の目を経営に活かすことによって、今まで以上に透明性がある企業運営を行う考えです。

リンナイグループでは、以前から国内外ともに従業員の人権を尊重し、誰もが働きやすい環境整備に取り組んできました。「女性の活躍支援」をはじめ、様々な施策を実施、さらに従業員の健康増進活動やメンタルヘルスケアの充実など従業員の健康保持・増進活動も推進してきました。こうした取り組みが評価され、経済産業省と東京証券取引所が主催する「健康経営銘柄2016」にも選定されました。今後も長期的視野に立ち、「従業員が生き生きと働く企業」として企業価値の向上に努めていきます。

地域社会との関わりでは、各拠点単位で様々な取り組みを行う一方、引き続き中川運河再生事業の支援など、文化支援、地域社会貢献の取り組みも進めます。

リンナイグループは、今後も本業を通して「豊かで快適な暮らしの実現」や環境保全に寄与するとともに、社会から我々に寄せられる期待に応え、持続可能な社会の実現に貢献していきたいと考えています。

代表取締役社長

内藤弘康



リンナイグループの主要拠点

●製造・販売会社 ●販売会社 ●その他事業 ●海外駐在員事務所



日本

- リンナイ(株)
- ・支社
 - 東北、関東、中部、関西、九州
- ・支店
 - 北海道、北東北、仙台、新潟、東京、北関東、東関東、南関東、東海、静岡、北陸、長野、大阪、京滋、兵庫、中国、四国、福岡
- ・生産関連拠点
 - 技術センター
 - 生産技術センター
 - 総合物流センター
 - リンナイパーツセンター
 - 大口工場
 - 瀬戸工場
 - 旭工場
 - 暁工場
- リンナイカナダホールディングス(株)
- (株)柳澤製作所
- リンナイテクニカ(株)
- (株)ガスター
- アールビーコントロールズ(株)
- リンナイ精機(株)
- アールティエンジニアリング(株)
- ジャパンセラミックス(株)
- 能登テック(株)
- テクノパーツ(株)
- リンナイネット(株)
- アールジー(株)
- リンナイ企業(株)

韓国

- リンナイ코리아(株)
- アールビー코리아(株)
- アールエス코리아(株)
- 三国PK精密(株)
- リンナイプラス(株)

中国

- 上海林内有限公司
- 上海燃宝控制器有限公司
- 上海林内热能工程有限公司
- 広州林内燃具電器有限公司
- 海南林内民生燃具厨衛販売有限公司

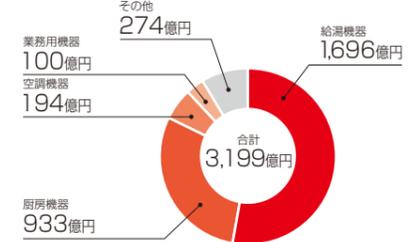
オーストラリア

- リンナイオーストラリア(株)
- プライビスクライメイトシステムズ(株)
- ジョーダズNSW(株)
- ガスアプライアンスサービス(株)
- リンナイニュージーランド(株)

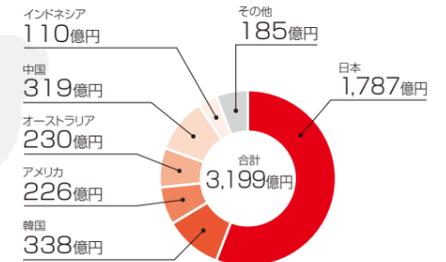
会社概要 (2016年3月31日現在)

創 業：1920年9月1日
 設 立：1950年9月2日
 資 本 金：64億5,974万円
 本社所在地：〒454-0802 愛知県名古屋市中川区福住町2番26号
 従 業 員 数：[連結] 9,940名 [単体] 3,579名
 グループ会社数：44社(国内15社、海外29社)

機器別売上高 (2016年3月期)



地域別売上高 (2016年3月期)



給湯機器/温水端末

給湯専用機、ふる給湯器、給湯暖房機、ハイブリッド給湯・暖房システム、浴室暖房乾燥機、ミストサウナ、床暖房 など



厨房機器

テーブルコンロ、ビルトインコンロ、オープン、食器洗い乾燥機、レンジフード、炊飯器 など



空調機器

ファンヒーター、FF暖房機、赤外線ストーブ など



業務用機器/その他

業務用焼物器、業務用レンジ、業務用炊飯器、衣類乾燥機、赤外線バーナー、部品 など



当社は「品質こそ我が命」を原点思想に、総合熱エネルギー企業として、「安全で安心、豊かで快適かつ健康的な生活」の実現をめざした事業活動を推進しています。

原点思想

品質こそ我が命 内業明人

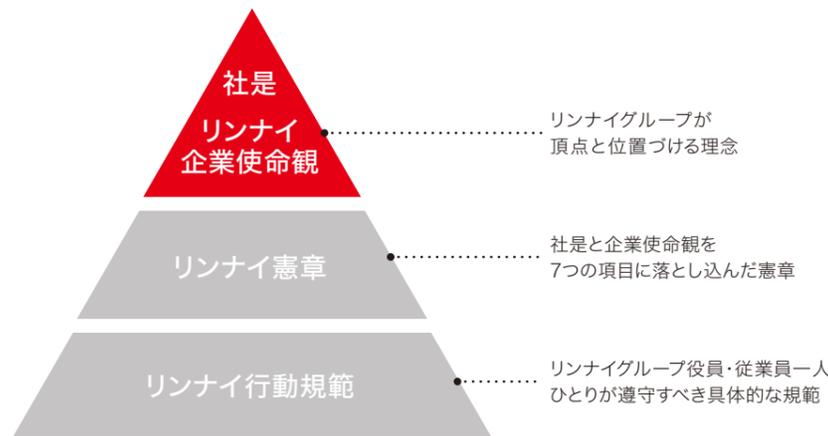
社是

和氣真 明人

リンナイ企業使命観

リンナイは『熱』を通じて『快適な暮らし』を社会に提供します

企業理念体系図



リンナイ憲章 七つの誓い

1. 私達は、「品質こそ我が命」を銘とし、顧客志向に徹します。
2. 私達は、「安全性」「快適性」「利便性」を追求し、地球環境に配慮した商品を提供します。
3. 私達は、「熱」と「くらし」の調和に関するすべてのノウハウを蓄積し、生活文化の向上に努めます。
4. 私達は、国内外のリンナイグループの結束を固め、お互いの繁栄に努めます。
5. 私達は、所属する社会の繁栄を願い、地域社会の一員として信頼を築きます。
6. 私達は、和・氣・真で率先実行し、会社の繁栄を通じ、自らの成長に努めます。
7. 私達は、良識ある社会人として、遵法精神と高い倫理観に基づき行動します。

[3つのこだわり]

当社は創業以来、3つのこだわりを持って事業の成長・発展を遂げてきました。この思想は、これからも変わることのないリンナイ精神として継承していきます。

熱と暮らし	品質	現地社会への貢献
リンナイは「熱」を通じて「快適な暮らし」を社会に提供することを企業使命とし、「熱」を扱う高度な技術を強みとし、人々の暮らしを支えます。	リンナイは、「品質こそ我が命」を銘とし、品質にこだわるからこそ、内製重視の商品づくり・モノづくりを行って、お客様に「安全・安心」をお届けします。	リンナイは、何よりも現地の人々の生活文化の向上に貢献することを信条とし、現地に密着した販売・サービス活動と現地生産を基本に海外展開を行います。

中期経営計画 「進化と継承2017」(2015年4月～2018年3月)

2015年4月からスタートした中期経営計画「進化と継承2017」では、グループ各社がリンナイの創業精神として「品質こそ我が命」の原点思想など、品質とモノづくりへのこだわりを「継承」しつつ、新たな時代へ「進化」することをめざし、2020年リンナイ創業100周年に向けて総合熱エネルギー機器ブランドとしての飛躍をめざします。

2020年(リンナイ100周年)へ向け、総合熱エネルギー機器ブランドとして大きく飛躍

めざす姿	進化への挑戦	リンナイ精神の継承
商品ビジョン 地球環境に貢献する総合熱エネルギー機器メーカー	1. 環境変化への対応 2. 進化のための重点課題推進 3. ビジネスモデルの革新	「品質こそ我が命」 「熱を通じて快適な暮らしを社会に提供する」
地域ビジョン 世界の人々の暮らしの向上に貢献するグローバル企業		
機能ビジョン 独自のビジネスモデルが人やパートナーを惹きつける企業		

	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (計画)	2018年3月期 (計画)
売上高	3,199億円	3,370億円	3,500億円
営業利益	345億円	370億円	390億円
営業利益率	10.8%	11.0%	11.1%

[4つのビジネスモデル進化]

国内のビジネスモデル



エコワン生産体制の強化(既工場新工場棟)



ハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE(エコワン)」

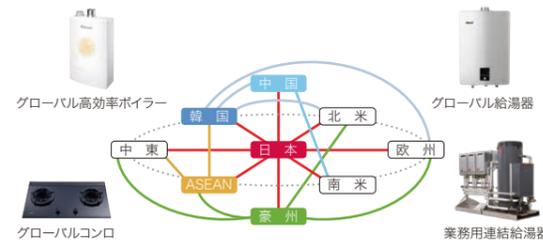
ハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE(エコワン)」を軸としてシステム商材主体のビジネスモデルに再構築

ガス機器周辺のビジネスモデル(国内)



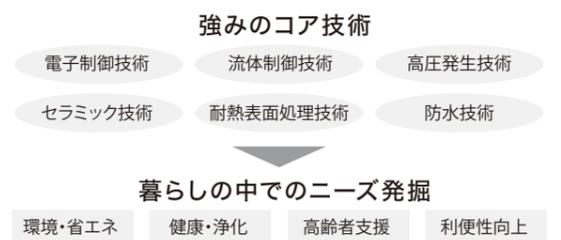
ガス機器以外の周辺商材を増やし、総合熱エネルギー機器メーカーとしてのブランドを確立

海外のビジネスモデル



海外拠点それぞれが「強み」を活かし合い、設計開発・生産技術の海外ネットワークモデルを構築

新分野のビジネスモデル



ガス機器製造で培ったコア技術を応用し、モノづくりの強みを活かし暮らしに貢献

私たちは日々の事業活動を通して「よりよい社会の実現」に寄与したいと考えています。
 具体的には「熱と暮らし」「品質」「現地社会への貢献」「環境」をキーワードに、様々な取り組みを展開しています。

[CSRに対する考え方]

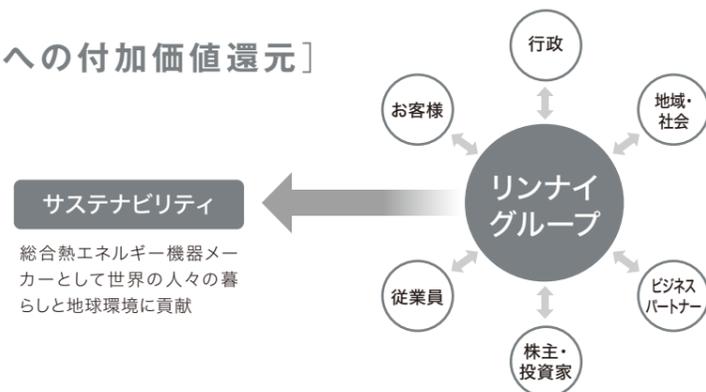
当社グループは「熱」を通じて「快適な暮らし」を社会に提供することを企業使命として、「安全・安心」「快適性」「環境性」に優れた熱エネルギー機器を提案し、世界の人々の生活文化の向上と未来の地球のために貢献していきたいと考えています。

CSR活動においては、創業以来大切にしてきた3つのこだわり（「熱と暮らし」「品質」「現地社会への貢献」）に、「環境」を加えた4つのテーマを掲げ、本業を通じたCSR活動をグループ全体で推進しています。



[ステークホルダーの皆様への付加価値還元]

ステークホルダーの皆様とともに当社の事業活動を通じて得た経済的価値を、ステークホルダーの皆様へ還元することによって、お互いの持続的な発展に努めます。



[環境理念・方針]

環境への取り組みについては、以下のような環境基本理念、環境スローガン、環境基本活動（7E戦略活動）を定めています。環境配慮商品による使用時における省エネルギーや、温室効果ガス削減への取り組みはもちろんのこと、商品の開発・調達・製造・販売・廃棄時など、私たちの様々な活動があらゆる場面で地球環境と深く関わっていることを認識し、全事業域で全員参加の環境活動に取り組んでいます。

環境基本理念

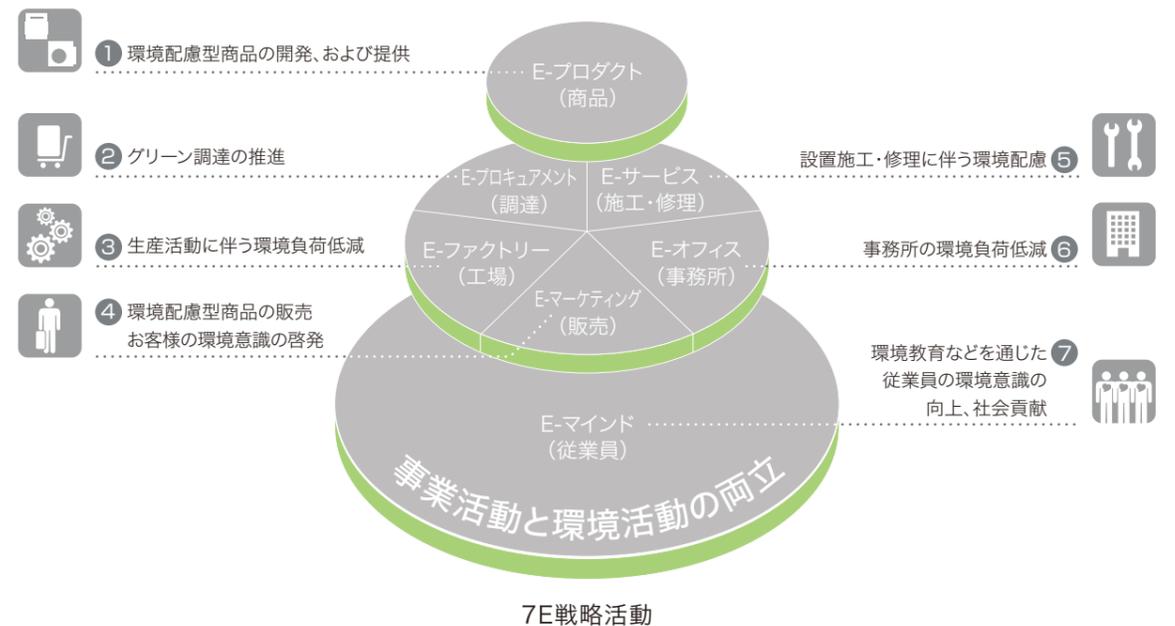
リンナイは、人と地球にやさしい優れた技術の追求と、人間性豊かな製品の開発・生産活動・販売・サービスなどを通じて、地球規模での環境保全に取り組み、社会に貢献することを基本理念とする。

環境スローガン

私達は英知を結集し、人と地球にやさしい環境に配慮し、行動します。

環境基本活動

全事業域で全員参加の環境活動を推進（7E戦略活動）



CSRに関する国際的評価

当社は2004年から11年連続で世界的なSRI指標(インデックス)のFTSE4Good Global Indexの組入れ銘柄企業に選定されています。



バリューチェーンと環境への影響

私たちの事業活動が、社会へあらゆる影響を及ぼすことを認識し、当社商品の調達から廃棄に至る全事業域で社会的責任を全うすべく、それぞれの事業域で環境に配慮した取り組みを行っています。



ステークホルダーエンゲージメント

リンナイグループは、様々なステークホルダーとの対話を大切に、寄せられた貴重なご意見・ご要望を事業活動に活かしています。

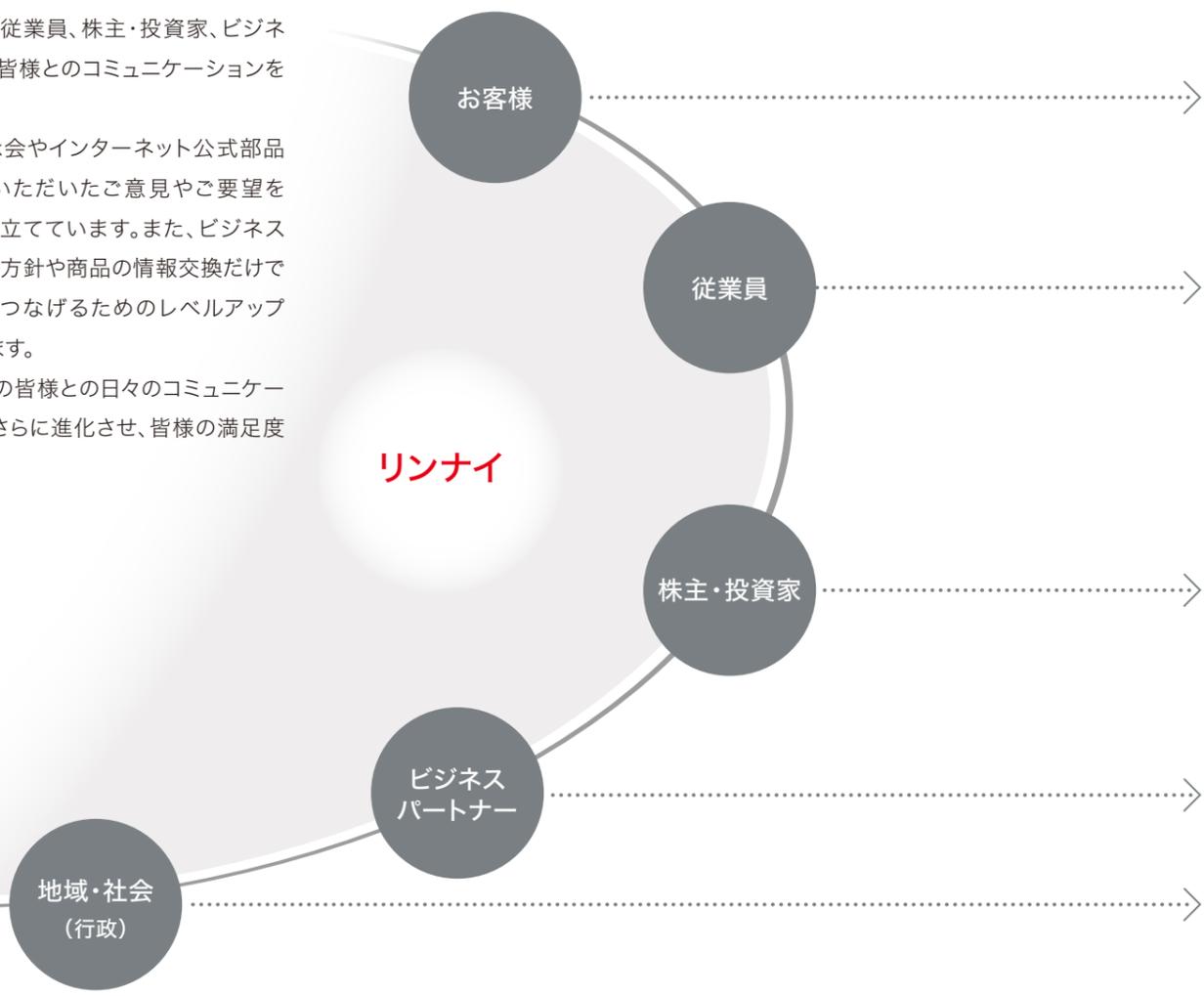
〔双方向コミュニケーションの取り組み〕

当社グループは、お客様、従業員、株主・投資家、ビジネスパートナー、地域・社会の皆様とのコミュニケーションを大切にしています。

例えば、お客様とは、展示会やインターネット公式部品販売サイトなどを通じて、いただいたご意見やご要望を商品・サービスの改善に役立てています。また、ビジネスパートナーの皆様とは、経営方針や商品の情報交換だけでなく、お互いの経営改善につなげるためのレベルアップ部会などを共同で行っています。

今後もステークホルダーの皆様との日々のコミュニケーションを通じて事業活動をさらに進化させ、皆様の満足度向上に努めます。

●ステークホルダーとのコミュニケーション



《コミュニケーションの方法》

- お客様センター
- インターネット公式部品販売サイト「R.STYLE(リンナイスタイル)」
- 各種展示会・イベント
- アフターサービス(点検・修理) など

- イントラネット・社内報
- 各種研修・イベント
- 個人面談
- 企業倫理相談窓口
- 各職場でのミーティング など

- 株主総会
- 決算説明会
- IRミーティング
- 工場見学会
- アンケート など

- 新春互礼会・取引先方針説明会
- 取引先連絡会
- インターネット双方向コミュニケーションツール「R-LINE」※
- レベルアップ部会 など

- 市民・まちづくり活動への参加
- 文化・芸術活動の支援
- 従業員による各種ボランティア活動
- 社会科学習支援(工場見学など)

《寄せられた意見・課題とそれに対する当社の対応》

・商品・部品に関する様々なお問い合わせに対し、お客様に丁寧に回答させていただくとともに、よくいただくご質問についてはホームページにFAQとして掲載しています。
 ・「電話のつながりやすさについて」「オペレーターの対応の丁寧さについて」など、修理を実施された方からの満足度調査を実施しています。回答いただいた内容は各オペレーターにフィードバックし不満足項目の課題を改善する取り組みを行っています。
 ・所有者登録していただいた方へのアンケート調査において、「販売店が代行記入してくれると良い」との声が寄せられました。2012年7月から所有者票を改訂し、説明の強化や販売店へ代行記入を要請できることを明記するなど改善をしました。
 ・長期使用製品安全点検制度をご存じないお客様もいらっしゃいますので、修理などお客様との接点時に、点検制度に関するご案内を行っています。

・働きやすい職場環境の整備のため、カムバック制度、短時間勤務制度、在宅勤務制度などを制定しました。引き続きハード面・ソフト面での整備を実施していきます。
 ・従業員個人の人事考課結果のフィードバックをしてほしいとの声から面談制度の確立と、各本部へフィードバックする取り組みを促しています。
 ・短時間勤務制度について、小学校入学年の7月まで利用を希望する声が多くあり、入学年の7月31日に達するまでに改訂しました。
 ・看護休暇についても、年5日間から10日間へ規程を改訂しました。
 ・今後も子育て支援、女性活躍支援に注力し、法令以上の制度へ改訂を進めています。

・決算説明会や個別のIRミーティングにて、中期経営計画「進化と継承 2017」を丁寧に説明し、当社グループの経営方針・戦略についてご理解いただくよう努めています。
 ・当社の強み・優位性についての理解を深めていただくため、機関投資家向けの施設・工場見学会を定期的に開催し、当社のモノづくりに対する考え方、技術力を紹介しています。
 ・配当方針に関するお問い合わせへの対応として、決算説明会や個別のIRミーティングの中で、当社の考えを説明させていただいています。

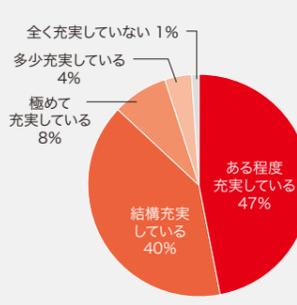
・取引先様から直近の生産状況についてお問い合わせをいただきますので、定期開催の取引先連絡会にて各商品ごとの生産実績、および今後の生産計画をお伝えしています。
 ・取引先様から品質改善や生産性向上への取り組みなどについて、当社に指導要請がありますので、主要の取引先様に対してはレベルアップ部会や経営者育成部会を開催して現場改善指導を行い、取引先様の経営改善をサポートしています。

・事業所立地の地元住民の方々から地域活性化のためのイベントや、お祭りへの協力依頼をいただきます。地域社会の一員として積極的に協力・参加しています。
 ・中川運河周辺地域をはじめ、文化・芸術活動への協力を行い、市民の交流・創造活動を継続的に支援しています。
 ・地域学習や学校教育への協力依頼があり、当社のモノづくりの歴史をお伝えするセミナーの実施や、小学生の工場見学受け入れなどを行っています。

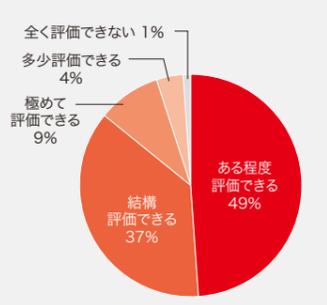
※R-LINE…インターネットを利用した取引先様との情報連携・コミュニケーションツール

〔CSRレポート2015〕アンケートの結果 n=424

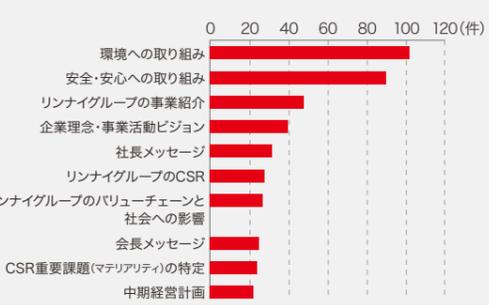
内容の充実度



CSRの取り組みに対する総合評価



ご興味を持たれた項目【冊子版】(複数回答/上位10位まで)



アンケート回答者からのご意見(抜粋)

Q.リンナイグループにエネルギーの側面で期待されること
 ・今後ともエネルギー効率向上のために、特に発展途上国などの家庭インフラ支援に積極的に取り組んでいただきたいと思います。
 ・エネルギーの効率利用だけでなく、環境保全を視野に入れて開発を行ってほしい。また、途上国にも活用できそうな安価なエネルギー機器の開発も行ってほしい。
 ・日常的に使う主となるエネルギーを何にしたら良いのか迷う事がある。消費者な印象が強いが、総合的に熱エネルギーを扱っている事例をもう少し知りたいと思った。

Q.全体的な評価、ご意見、ご感想など
 ・社会貢献では、海外の会社での寄付活動などが紹介されているが、国内では行っていないのでしょうか。ぜひ、取り組んでほしいと思います。
 ・ダイジェスト版は全体的にかなりコンパクトになっていて分かりやすい印象です。ただし、もう少し文章を減らしても良いかと思いました。中期事業計画の数値について、過去実績と比較のため、3期分の実績値を載せてもらえるとさらに分かりやすくなったかもしれません。
 ・誠実な印象はすごく伝わりました。グラフや写真も多用し分かりやすいとも思いました。しかし、「オリジナリティー」があればもっと印象に残ると思いました。

CSR重要課題(マテリアリティ)の特定

CSRの視点から課題を適正なプロセスによって抽出。それらをステークホルダーの重要度、当社の重要度などによって分析し、取り組むべき重要課題の設定を行っています。

[CSR重要課題(マテリアリティ)の特定プロセス]

ステークホルダーの皆様とリンナイグループのお互いの持続的な発展のため、当社グループは積極的に様々なステークホルダーの皆様の見解や期待の把握に努め、CSR活動に取り入れています。こうした継続的な活動が、企業価値の向上、ステークホルダーの皆様との成長、持続可能な社会の実現に寄与すると考えています。

また、ステークホルダーの皆様との日々のコミュニケーション活動や、様々なガイドライン・SRIインデックスの調査・分析を通じて、当社グループに関わる様々な社会的課題の把握に努めています。さらに、経営企画部門を中心に、経営戦略と照らし合わせ、CSR重要課題を特定しています。

特定のプロセス



[CSR重要課題(マテリアリティ)の特定]

当社グループに関わる社会的な課題を抽出し、ステークホルダーの重要度、当社グループの重要度をそれぞれ分析し、CSR重要課題を特定しています。

この課題は、ステークホルダーの皆様に関心、影響度が高いことはもちろん、当社グループにとっても経営戦略上重要なテーマとして位置づけています。



※現時点において、特に重要と思われる課題を特定しています。※特定した課題は、社会の変化に合わせて必要に応じて見直しを図ります。

取り組み分野	CSR重要課題(マテリアリティ)	対象地域・ステークホルダー	取り組み内容	目標指標
環境への取り組み (P.17~)	<ul style="list-style-type: none"> ●エネルギー消費量 ●CO2排出量 日本では、家庭におけるエネルギーの半分以上が、給湯・暖房分野で使用されています。給湯・暖房分野のエネルギー消費量・CO2排出量の削減が大きな課題です。	対象地域: グローバル (主要な取り組み国: 日本) 対象ステークホルダー: 全て	省エネ性・環境性を追求した給湯・暖房機器を開発し、家庭への普及・促進を通して、使用時におけるエネルギー消費、および家庭から排出されるCO2の削減をめざします。	商品使用時におけるCO2削減貢献量
安全・安心への取り組み (P.23~)	<ul style="list-style-type: none"> ●消費者安全 ●品質向上 商品の不良による事故をゼロにすることはもちろん、台所での火災事故、浴室での死亡事故を減らすことも大きな課題です。	対象地域: グローバル 対象ステークホルダー: お客様	商品を開発・製造・販売し、お客様のもとで使用を終えるまで「不良」を出さない「ZD(ゼロディフェクト: 不良ゼロ)」をめざした取り組みと、家庭内での事故防止のための安全・安心情報開示、啓発活動を推進します。	サービスマンアンケート評価点数、サービスマン認定数の向上

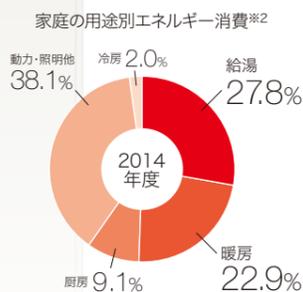


ECO ONE 第三世代が拓く 新しい「住まい」のかたち



ハイブリッド給湯・暖房システム
ECO ONE

家庭で使われるエネルギー消費量のうち、半分以上を占めるのが給湯と暖房であり、これらによる二酸化炭素(CO₂)排出量を減らすことは喫緊の課題です。2020年の住宅・建築物の省エネルギー基準適合住宅義務化に向けて、家庭からのCO₂排出量削減の機運が高まる中、給湯一次エネルギー消費量^{※1}を約40%も削減し、CO₂排出量削減に寄与するハイブリッド給湯・暖房システムECO ONE(エコワン)に各方面から期待が集まっています。今回はリンナイが推進する環境貢献と、それらを通じて実現する新しい「住まい」のかたちを紹介します。



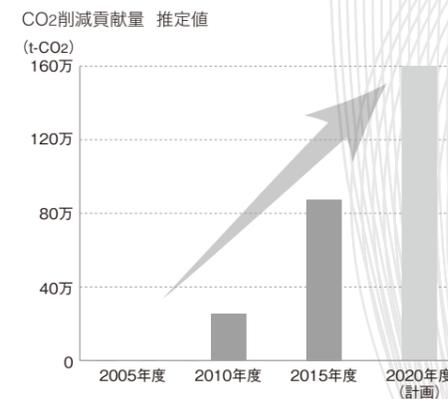
※1 一次エネルギー消費量：石炭・石油・天然ガスなどを自然界にあるままの様態から、どのくらいのエネルギー(お湯)が得られたかを示したものの、電気・ガス・石油などの異なる機器であっても同じ条件下で比較することができる。最近では省エネ住宅における評価基準として用いられている。
 ※2 出典：資源エネルギー庁「エネルギー白書2016」

Environmental Activity : 環境活動

2020年に向けて CO₂削減貢献量の倍増にチャレンジ

ECO ONEをはじめとする熱エネルギー機器は、材料の調達から廃棄に至るまでのライフサイクルで見ると使用段階でのCO₂排出量が最も多くなっています。そのため、地球温暖化の抑制に寄与するには、機器自体における燃焼効率の改善など「エネルギー効率の向上」と「環境配慮型商品の普及」が重要であると考えています。

当社商品の使用時におけるCO₂削減貢献量^{※3}の指標では、2005年度をゼロベースとし、2010年は25万t、2015年は88万tと着実に進めてきました。2020年までの環境中期目標として、当社は「商品使用時のCO₂削減貢献量を160万t-CO₂にする」を掲げ、家庭の省エネ化、CO₂排出量の削減に向けた取り組みを推進します。



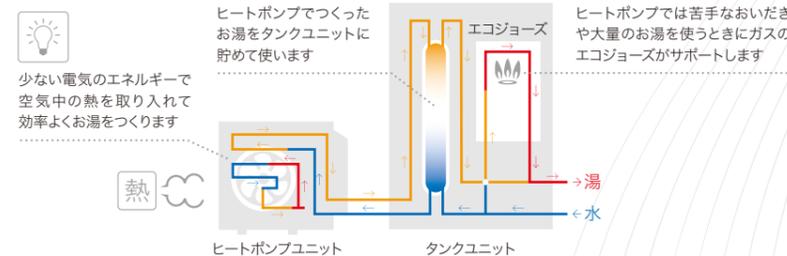
※3 CO₂削減貢献量：リンナイ給湯機器の性能向上により、2005年販売商品と比較して削減されるCO₂排出量(推定値)
 算定条件 対象商品：リンナイ株式会社が販売する給湯機器(日本国内)
 使用期間：10年 使用条件など当社独自の基準による

Product : プロダクト

高効率ガス給湯・暖房システムと ヒートポンプを融合した世界初のシステム「ECO ONE」

給湯と床暖房の熱エネルギーを供給するECO ONEは、ガスと電気のヒートポンプを組み合わせた世界初のハイブリッド給湯・暖房システムです。2010年に誕生したECO ONEは、その第二世代で省エネ大賞、第三世代ではグッドデザイン賞を受賞するなど、高い環境性能やデザイン性で業界をリードし続けています。

【ECO ONEとは】



【第一～第三世代までの変遷】



Functionality : 機能性

ECO ONEには、あらゆる「つかうシーン」を意識した便利な機能が満載

「我慢して省エネ」するのではなく、「快適な状態で省エネ」を実現できるのがECO ONEの最大の魅力です。また、通常・災害時を問わず、安定した快適さを提供する給湯・暖房システムへと進化を遂げています。

【こんな場面で】

「思いついた時に操作をしたい」



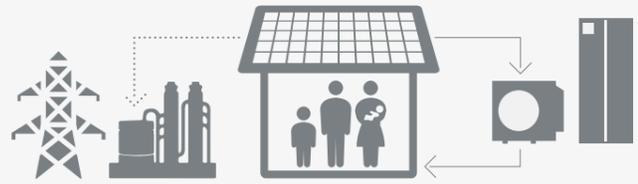
専用アプリケーション「リンナイ家中どこでも給湯器リモコン」(無線LAN対応) ※家中での操作限定

いつでも手元でコントロール可能

スマートフォンやタブレット端末の専用アプリケーションから「湯はり」や「おいだき」の指示ができます。

「我が家で使う分のエネルギーをつくりたい」

ヒートポンプを停止して発電した電力を積極的に売電
買い取り価格変動に適用
ヒートポンプを運転して発電した電力を自家消費



太陽光発電システムとの連携

太陽光発電の時間帯は、売電単価とガス単価を比較して、最適な方を自動選択します。

「ライフラインが切断されてもお湯を使いたい」

電気・ガスが停止した場合



災害時などに限られたエネルギーで給湯運転

災害時の貴重な生活資源となる蓄電池からの電力供給に対応します。

Project Team : プロジェクトチーム

「未来の住まい」を想定し、性能・デザイン性を追求した第三世代

ECO ONEの第三世代は、環境配慮・高級感・審美性のコンセプトを開発・生産技術に反映させて具現化し、より省エネで洗練された外観を持つ商品に仕上げました。そのモノづくりに込めた思いを紹介します。



生産技術部 商品技術開発室 原田 大樹
開発本部 デザイン室 前川 勝紀
開発本部 第一商品開発部 新技術設計室 近廻 聡

お客様の視点を設計に反映した環境配慮商品

より多くの方々にECO ONEを選んでいただけるように、第三世代ではお客様の視点で外観・デザイン性を追求しました。玄関脇や庭先などの人の目に触れる場所に設置されることを想定し、日本家屋の外壁にマッチするシャンパンメタリックカラーを採用したほか、デザイン性と強度確保を両立させるため、部材同士の合わせ目(ライン)を排除しました。

環境面では、省エネ住宅の評価基準「一次エネルギー」において、効率性を追求。さらに外観の化粧カバーをなくして外板の厚みを見直し、軽量化にも寄与しています。

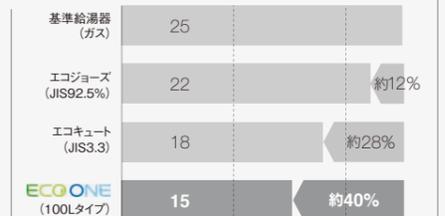
豊富なバリエーションにより様々な住宅環境に柔軟に対応

施工面では、狭小地での設置や使用条件(気候や住宅密集地などの立地条件、接続する暖房機器などの違い)に合わせて、ECO ONEを構成する機器を柔軟に組み換えることができるようにしました。さらに排気口の位置を自由に選択できるようにするなど、設置場所の状況に対応できるようにバリエーションの充実にも努めています。

知識の活用、加工技術の追求によって完成した第三世代ECO ONE

特にこだわったのは、部材同士の合わせ目(ライン)をなくすために大きな一枚板を使用したことです。従来の工法では実現することが不可能でしたが、「ラインをなくす」という見た目の美しさを追求するため、これまで培ったノウハウやモノづくりに関する様々な知識を活用。独自の加工技術を確認して商品化に結びつけました。このECO ONEに込めた開発・デザイン部門の熱い思いを生産技術部門が受け止め、製造段階での加工技術を追求したことによって、さらに進化したECO ONEのモノづくりを完成させました。

給湯一次エネルギー消費量(GJ/年)



設置場所の周辺状況に応じた組み換え



柔軟なレイアウト変更が可能



業界最小サイズ・窓下設置可能なローボーイタイプ(50L)

Sales Strategy : 販売戦略

持続可能な社会・住宅環境に向けて 省エネ住宅の実現に寄与するECO ONE

政府は、地球環境保全のため温室効果ガス削減目標を公表しています。その目標達成に向け、家庭での一次エネルギー消費量を可能な限り低減させるために、下記のような省エネ住宅の普及を促進しています。

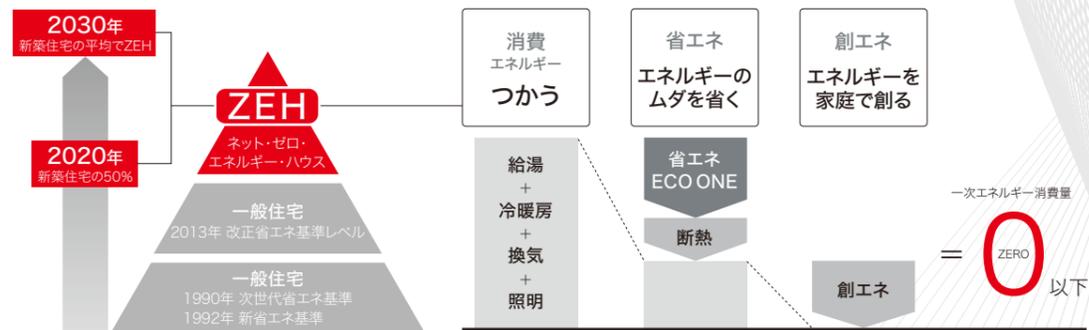
【低炭素建築物】

低炭素建築物とは、CO₂の排出を一定量抑制することをめざした建物です。生活の拠点となる住宅では、電気やガスなどのエネルギーを多く使うため、建物の断熱性を高めるだけでなく、先進の省エネ設備機器を導入し、住宅全体で省エネ化することが求められます。

【ネット・ゼロ・エネルギーハウス (ZEH)】

ZEHとは、自宅で作るエネルギー量が使う量よりも多い、あるいはほぼ同じ量になるよう設計された究極のゼロ・エネルギー住宅を指します。主に、戸建住宅での普及が期待されています。

〈ネット・ゼロ・エネルギーハウスイメージ〉



低炭素建築物やZEH実現のためには、戸建住宅や集合住宅といったあらゆる住宅形態に設置できる省エネ設備機器が必須であり、それらの普及に向けた公的な認定制度が始まっています。特に集合住宅では、階・部屋ごとに「エネルギーを効率的に使用できるかどうか」といった厳しい省エネ基準があり、その公的な基準をクリアすると「低炭素建築物」として認定され、購入者が住宅ローンなど経済面での補助を得ることができます。

〈低炭素建築物の認定単位のイメージ〉



温水式床暖房を設置しても 厳しい省エネ基準をクリア

当社のECO ONEは、一次エネルギー消費量がきわめて低く、給湯のほかに温水式の床暖房を使用した住宅であっても低炭素建築物とZEHの両方の省エネ基準をクリアすることができます。今後とも、温水式床暖房の普及を通じた、「我慢せずに快適な生活を送ることができる省エネ住宅化」を牽引していきます。



Newest : 最新

集合住宅で全戸にECO ONE + 床暖房を導入した 国内初の全戸低炭素建築物「リストレジデンス用賀」

「リストレジデンス用賀」は、全戸にECO ONEと温水式床暖房を採用したマンションとして、国内初の低炭素建築物に認定されました。低炭素建築物は、地球環境に貢献できるほか、物件購入者には光熱費の削減、税制・金利面での優遇など大きなメリットがあります。



リストデベロップメント担当者が語るECO ONEの魅力とリンナイへの期待 低炭素建築物の基準を楽々クリア ECO ONEは省エネ住宅の大きな武器

「リストレジデンス用賀」は、子育て世代やセカンドライフ世代をターゲットに企画したマンション物件です。低炭素建築物認定を取得してセールスポイントにしたいと考え、一次エネルギー効率の点で最も優秀な給湯・暖房システムであるECO ONEの設置を前提に設計しました。低炭素建築物の基準に合致しているか、全48戸を一戸一戸調査しましたが、ECO ONEの高い性能のおかげで当初の計画からほとんど仕様変更することもなく、低炭素建築物の認定を取得することができました。CO₂排出量の計算を依頼した会社も「マンションで床暖房を採用して、この認定を取るのはいすごい。普通は取れない」と驚いていました。また、ECO ONE第三世代は機器自体がコンパクトで横置きも可能になったので、設置性が向上し、お客様の居住面積を広く確保することができたことも魅力の一つでした。

当社も、省エネ基準を満たす物件を多く手掛けるなどエコに注力しているので、「エコ(環境配慮商品)を通じて社会貢献する」というリンナイの企業姿勢には共感し、同じ志を持った仲間として頼もしさを感じています。これからもECO ONEのような社会のニーズにマッチした、高性能で安全な素晴らしい商品を世に送り出していきたいと思います。

東京都世田谷区の緑豊かな住宅街に位置する総戸数48戸のマンション。用賀エリアは、都心への利便性もよく、世代を問わず大変人気のあるエリアです。ECO ONE第三世代を全戸採用したことでマスメディアに多く取り上げられ、注目を集めています。



リストデベロップメント株式会社
東京開発事業部
次長 安永 直昭さん



リストデベロップメント株式会社
東京開発事業部
課長 登坂 庸介さん

「安全で安心」「快適で健康的」な生活空間をつくる 「温度バリアフリー住宅」をめざして

住まいの暖房においては「家全体を暖める」という欧米の発想に対し、日本では「部屋ごとに暖める」という考え方が主流のため、地域や季節によって部屋ごとに大きな温度差があり、快適さや健康面での問題が指摘されていました。しかし、ガスの給湯暖房機と温水端末を組み合わせて使えば、日本の住宅でも室内の温度差をなくす温度のバリアフリー化が可能です。リンナイは高効率なガス給湯暖房機および周辺機器の開発・製造・販売を通して、日本における「温度バリアフリー住宅」の普及・拡大に努めます。

業界最小・最軽量化の 高効率ガス給湯暖房機を発売 多様な立地条件に対応

高効率ガス給湯暖房機は、キッチンや浴室への給湯、浴槽への自動湯はり・おいだきから温水温房までを1台でまかなうものです。当社はこれまでも高効率ガス給湯暖房機を販売してきました。中でも2015年7月に販売した給湯暖房機RVD-Eシリーズは業界最小・最軽量*を実現し、様々な立地条件にも対応できるものとして注目されています。今後も高効率ガス給湯暖房機と寒い浴室を暖める浴室暖房乾燥機、足元から部屋を暖める床暖房、温水ルームヒーターなどの温水端末の普及に力を注ぎ、快適で健康的な住まいの実現に貢献していく考えです。

※2015年6月現在、リンナイ調べ



Bathroom

高効率ガス給湯暖房機には「おいだき」機能付もあり、いつでも温かいお湯を楽しむことができます。また、浴室暖房乾燥機を設置すれば浴室と他の部屋の温度差をなくし、体への負担を軽減することができます。



Living

空気を汚さず、ふく射熱によって部屋全体を暖める床暖房。無風暖房のため、ほこりを巻き上げないほか、肌の乾燥の心配がありません。



Kids room & Bedroom

子ども部屋や寝室には、約70度の温度で足元から素早く部屋を暖めるガス温水ルームヒーターがおすすです。室内でガスの燃焼を行わないため、小さなお子様の部屋にも安心して設置できます。



エコジョーズガス給湯暖房機
コンパクトタイプ
RVD-E2405AW2-1

設置施工性の向上

熱源機をコンパクト化するだけでなく、温水端末との接続に必要な熱動弁ヘッダーを本体に収納した内蔵タイプを開発。設置施工性を向上させました。

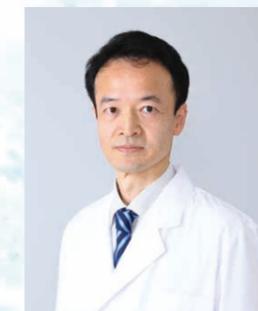


正しい入浴の仕方とともに 日本の「お風呂」文化の 世界への発信を期待

欧米で入浴といえばシャワーが一般的。日本のように日常的に「お風呂につかる」文化を持っている国・地域はほとんどありません。肩まで浴槽につかることは疲労回復に大きな効果があるとされています。水圧によってむくんでいる個所の血流が改善し、浮力によって筋肉の緊張がなくなりリラックスできるほか、ストレスによって自律神経が乱れている際には副交感神経に作用してその解消を果たすと報告されています。

ただし、入浴には危険があるのも事実です。最も気をつけなければならないのが脱衣室や浴室でのヒートショック。部屋と脱衣室、浴室で温度差が激しいと身体に負担をかけ、血圧の急上昇などによって脳内出血を起こしたり、気を失って溺死したりする可能性があります。かけ湯をして血圧の急上昇を防ぐ、脱衣室や浴室を暖めるなどの工夫が必要です。このほかお湯の適温(40度)を守る、お風呂につかるのは10~15分程度で長時間は避けることも必要です。

これからの給湯器はもっと進化してもいいと思います。例えば人工知能によって「あなたの体調にはこのくらいの温度がよい」「もうふるから上がったほうがよい」とアドバイスする機能があるといいですね。そして日本の素晴らしい文化である「お風呂につかる」入浴スタイルを世界に広めて欲しいと思います。



東京都市大学 人間科学部教授
温泉療法専門医
早坂 信哉さん

Product : プロダクト

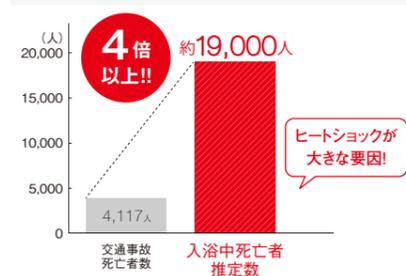
ヒートショック抑制に貢献する浴室暖房乾燥機

日本の入浴時による死者は年間約1万9000人。居室・脱衣場・浴室内の温度差によるヒートショックも原因の一つと考えられ、心筋梗塞や脳血管障害で命を落とす場合と、これらの疾患や一過性意識障害(失神)などによって倒れ、浴槽内で溺死する場合があります。

浴室を暖めることができる浴室暖房乾燥機の設置は、ヒートショックを防ぐのに有効な手段です。2016年4月に当社が発売した浴室暖房乾燥機は、自動湯はり時に浴室温度が15度以下の場合には自動的に浴室を暖房する「自動連動機能*」を装備したほか、浴室温度が15度以下になった場合、「低温」という文字をリモコンに表示。浴室暖房の利用を促します。

※自動連動機能を搭載した給湯暖房熱源機とリモコンの組み合わせに限りです。

交通事故死者数と入浴中死者数の比較[2015年]



出典:消費者庁2016年1月20日公表資料
「冬場に多発する高齢者の入浴中の事故に御注意ください!」
警察庁2016年1月4日公表資料
「平成27年中の交通事故死者数について」



リンナイは浴室でのヒートショックを防ぐ浴室暖房機器の普及推進と事故防止の啓発活動を通して、浴室での事故発生リスクの低減に貢献します。

お客様の安全・安心に向けた リンナイグループの品質への取り組み

ガス機器をはじめとする熱エネルギー機器は、人々の暮らしの中で用いられるため、少しの不具合や故障が大きな事故につながりかねません。当社グループは「品質こそ我が命」を原点にモノづくりを推進しています。私たちは単に故障・不具合を起こさないだけでなく、その商品が役割を終えるまでの間、快適な生活の実現に貢献するかどうかまでを「品質」と考えています。商品の開発からアフターサービスに至るまでの品質に向けた具体的な取り組みを紹介します。

Development : 開発

環境試験棟を新築 全国各地の住環境に応える商品の 開発を推進

ガス機器には、(1)購入時から商品が役割を終えるまで安全に使えること(2)設置環境に左右されずに一定の性能を発揮すること(3)商品が役割を終えるまで性能を発揮すること — の3つが求められます。当社グループではこれらの性能を満足できるかどうかを調べるために、数多くの性能評価を実施し、改善点の発見・信頼性の確保に努めています。

2015年7月には新しい環境試験棟を技術センター内に設置しました。この試験棟には、気候条件を低温から高温まで調整できる総合環境試験室を完備しています。この試験室内には戸建て住宅が設けられており、外気温の変化によってガス機器がどのような影響を受けるかなどを調べることができます。また、断熱材や壁厚、部屋の広さなどを変えることもでき、きめ細かな試験評価が可能になっています。



環境試験棟

Production : 生産

訓練道場「考働館」を設置 体験を通じた品質教育を実施

大口工場では2009年から組立作業による品質不良撲滅のために、訓練道場「考働館」を設置しています。新たに作業に従事する方に対して、実際の商品や設備、治具※を用いて、分かりやすく品質教育ルールを伝えるとともに、ネジ締め技能の訓練を行っています。また、新人だけでなく、経験者に対しても、繰り返し基礎教育・応用教育を行い、品質意識の維持・向上を図っています。



考働館

※治具 加工・組立の際に道具や作業位置を指示・誘導するために用いる道具



大口工場 第二製造課 伊藤 浩二

ルールの必要性を理解してもらい、品質へのこだわりを育む

指導にあたっては、品質ルール一つひとつに対して「なぜ、そのルールを守らなければいけないのか」といった必要性和、もし違反した場合、どんなことが起きるのかを説明しています。時間はかかりますが、指導・訓練を繰り返し行い、理解度を向上させることが確実な作業につながります。

今後は、より受講者にやさしく、分かりやすい教育を行うため、視覚的に訴える映像の教材を作成していきます。

Information Service : 商品使用時の情報提供

ホームページで安全に対する注意を喚起

スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、多くの人々がインターネットに接続できるようになりました。そこで当社ではホームページを通して安全にガスを使用ができるように各種情報提供を行っています。

【地震発生後のマイコンメーターの復旧方法】

マイコンメーターはガスの使用量を計測するだけでなく、震度5以上の地震発生時に自動的にガスの供給を止める機能を持っています。当社のホームページでは、地震発生後、速やかにマイコンメーターの正しい復旧方法の手順を公開します。



【製品安全総点検月間】

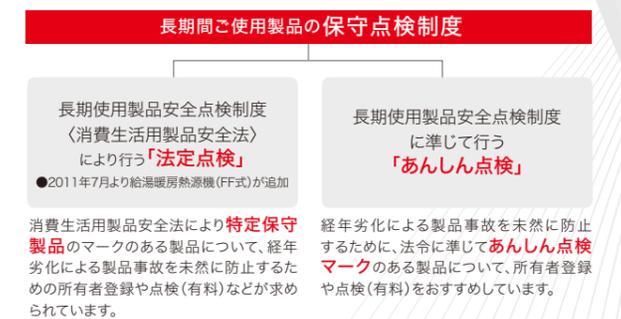
経済産業省が定める「製品安全総点検月間」に合わせ、毎年11月に安全への啓発活動を強化しています。日頃からホームページで発信しているリコール情報や長期使用製品に関する注意事項、製品の正しい使い方などの情報をまとめたページを作成し、お客様の安全に対する意識向上に努めています。



Inspection & Change : 点検・取り替え

長期使用製品の点検の推進とその体制の充実を図る

2009年4月の「消費生活用製品安全法」改正によって「長期使用製品安全点検制度」が施行されました。それを受けて製品には標準的な使用期間があることを広く伝えるとともに、使用期間を超えた機器を使用するお客様に機器の点検・取り替えをすすめる活動を展開しています。なお、当社グループでは「特定保守製品」(屋内式ガス瞬間湯沸器ほか)はもちろん、そのほかの製品についても「長期使用製品安全点検制度」に準じて行う「あんしん点検」を提案しています。

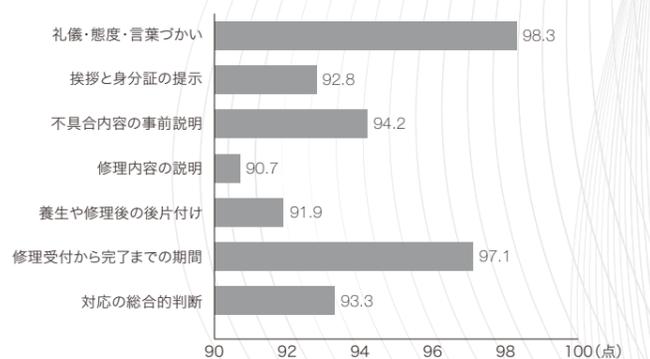


After Service : アフターサービス

アフターサービスも「品質」 迅速な対応で高い評価を獲得

「お客様満足度 (CS)」を重視し、お客様からのご相談・ご要望に誠実かつ迅速、的確に対応、「満足と安心・信頼されるサービスを提供する」ことを方針にしています。修理サービスを行った際には対象消費者に「お客様の声アンケート」を実施。修理訪問時の対応などの満足度を評価してもらい、その結果を各部門にフィードバックしています。2015年度は述べ22万人の消費者にアンケートを実施、100点満点中平均で94.4点の評価を得ました。2007年以降、毎年90点以上を獲得しています。

〈アフターサービスにおけるお客様満足度アンケート結果〉



ステークホルダーとのコミュニケーション

当社と関わるステークホルダーとのつながりを重視。働きやすく活気ある職場づくりを行うほか、地域社会への貢献活動にも力を注いでいます。

〔お客様とのコミュニケーション〕

●お客様の声を活かした商品展開

当社商品を長く大切に使用していただくため、2006年10月に当社商品の純正交換部品のインターネット公式部品販売サイト「R.STYLE(リンナイスタイル)」の運営を開始し、お客様自身で取り替えられる部品やお手入れ用品を販売しています。直接寄せられるお客様の声を反映して、当社商品と相性のよい「お掃除グッズ」や「キッチングッズ」、リンナイスタイル限定の「オリジナル商品」も開発するなど、取り扱い商品を日々拡充しています。

2016年3月には、会員登録数が40万人を突破し、当社商品をご利用のお客様との接点がさらに拡大しました。会員の皆様とのコミュニケーションとして、インターネットアンケートを実施し、収集したデータからお客様のニーズをくみあげた商品企画や課題の解決などに活用しています。



●強火力でシンプルなコンロの開発

インターネットサイトに寄せられるお客様の声の中に「強火力でシンプルなコンロ」への要望が多く、その要望に応える商品として、2015年12月にインターネット限定モデルのガステーブルコンロ「Vamo. (バーモ)」を発売しました。

シンプルなデザインを追求し、調理性にこだわり家庭用テーブルコンロで業界最大火力*となる4,000kcal/hの強火力バーナーを搭載しました。

*業界最大火力-2016年4月時点、家庭用ガステーブルコンロ分野。リンナイ調べ



●ホームページに寄せられたお客様の声を社内改善へ展開

「R.STYLE」には、販売サイトをご利用いただいたお客様から、商品やサービスへのご意見・ご感想が多く寄せられています。お客様の声は社内共有サイト「ひまわりメッセージ」に掲載しています。部門間で情報を共有し、分析・対策をすることにより、品質向上やサービス活動拡充などの改善につなげています。



〔株主・投資家とのコミュニケーション〕

●IR活動

株主・投資家の皆様へ事業概況を直接お伝えする場として、また迅速かつ公平な情報開示の手段として、アナリスト・機関投資家向け決算説明会(年2回)、株主通信の発行(年2回)、ホームページへのニュースリリースや決算説明資料の掲載、IRカレンダーなどによる情報提供を行っています。英語版ホームページにも日本語版と同様に決算情報や株主通信などのIR情報を掲載し、タイムリーな情報提供に努めています。



●株主総会

2016年6月28日に名古屋市中村区・名鉄ニューグランドホテルにて第66期定時株主総会を開催しました。より多くの株主の皆様様に議案を十分に審議いただき、ご出席いただけるよう、株主総会の招集通知を法定期限よりも早くお届けしています。株主総会ではスライドを用いた事業報告を行うなど、株主の皆様へ当社の状況を分かりやすくお伝えできるよう努めるとともに、株主総会の会場への参加が困難な方のためにインターネットなどによる議決権行使制度を採用しています。また、株主の皆様にお送りする報告書(株主通信)は、決算実績を写真、グラフ、解説などを用いてご理解いただきやすい形でお届けしています。



〔ビジネスパートナーとのコミュニケーション〕

●取引先様とのコミュニケーション

毎年開催する「新春互礼会」や「取引先方針説明会」、定期的実施している「取引先連絡会」などを通じて、当社の品質に関する考え方、モノづくりの基本を理解していただくとともに、当社の生産動向を含めた情報提供を行っています。また、取引先様からのご提案や質問事項について協議する場として、お互いの連携強化を図っています。

さらにインターネット環境を利用した双方向型の情報交換ツール「R-LINE」を通して、より多くの取引先様と円滑かつ迅速な情報連携を推進し、災害時などにおける事業活動のリスクに対する備えを強化しています。



[従業員とのコミュニケーション]

一人ひとりがやる気を高め、それぞれが能力を最大限に発揮できる「明るく働きがいのある風土づくり」と、従業員の健康促進・安全維持のための「職場環境づくり」を推進しています。会社で働く全従業員が、個々のライフスタイルに応じて、仕事と個人の生活を調和させながら、自分らしく「やりがい」と「充実感」を持って活躍できるように、生涯にわたり従業員を支援できる人事制度の充実に取り組んでいます。

●OJTを基盤とする人材育成

仕事を通じ上司から部下への「OJT(直接指導)」を育成手段の主軸に置き、職責に合わせて人間力向上を支援する「階層別研修」と、専門プロ化を推進する「専門分野別研修」を両輪とした「3本柱の育成体系」を基本としています。また、2010年度から、事業計画を推進している組織リーダーのさらなるレベルアップを目的とした研修を実施し、より質の高いプログラムを社内で企画し実践しています。



新入社員 現場実習風景

●女性の活躍支援

当社の商品は、日々の生活で使用されるものが多く、女性のアイデアや意見が非常に重要です。商品企画・設計部門、販売企画PR部門、ルート営業部門および、製造部門を中心に、様々な職務で女性が幅広く活躍しています。また、総合職(基幹職)に占める女性の割合も年々増加しており、役職に就く女性も少しずつ増えてきています。国内では、2016年3月時点で、女性の管理職は3名、主任・係長職は65名(全総合職の2.8%)となっています。女性が働きやすい職場環境への改善を進め、2015年度には「育児短時間勤務できる期間」や「子どもの看護休暇日数」を改善、幼い子どもを持つ従業員が働きやすい環境づくりを推進しました。

育児短時間勤務できる期間	
従来	小学校入学直前3月31日まで
改善	小学校1年生の7月31日まで
子どもの看護休暇日数	
従来	5日間/年(該当する子が2人以上は10日間/年)
改善	10日間/年(該当する子が2人以上は20日間/年)

VOICE



開発本部 制御ソフト開発室 弓削 愛

1年間の産休育休を経て職場復帰しました。現在も休職前と変わらず温水機器のソフトウェア開発に携わっています。復帰前は子育てと仕事の両立に不安がりましたが、職場に理解がある事も以前から感じていたので復職する事に全く迷いはありませんでした。ワークライフバランスは以前より家庭寄りですが、職場や家族の協力を得て、家事・育児・仕事とメリハリある生活が送れています。私のように職場復帰して働く女性は年々増えており、時短勤務に関しての意見も積極的に取り入れて貰え、本当に心強い限りです。

「健康経営銘柄2016」に金属製品業種として初選定



2016年1月、経済産業省と東京証券取引所が主催する「健康経営銘柄2016」に選定されました。

「健康経営銘柄」とは、従業員などの健康管理を経営的な視点で戦略的に実践している企業を「健康経営※」に優れた企業として選定し、長期的な視点で企業価値の向上を重視する投資家にとって魅力ある企業を紹介するもので、2015年度から実施されています。

当社は健康増進活動の支援、健康診断および個別サポート、メンタルヘルスケアへの取り組みに対する評価を通して東京証券取引所の金属製品業種において初めて、健康経営銘柄に選定されました。

※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

〈健康増進活動の支援〉

健康増進の支援として、従業員組合主催の「体力増進スポーツイベント」や全国の従業員が自発的に行う「クラブ活動(サッカー、野球、ゴルフ、自転車、卓球、マラソン、他)…」現在の28部への費用支援も積極的に行っています。従業員食堂においても栄養士と連携し、従業員の健康を考慮したメニューの考案に取り組んでいます。



従業員組合主催のBBQ大会

〈健康診断および個別サポート〉

2013年から健康支援室を設置し、専任保健師による従業員の健康増進活動を実施しています。個別健康指導や相談、健康づくりセミナーを実施する中、長時間労働者に対しては、健康障害を未然に防ぐため、法令を上回る基準を設定し、産業医の面談を行っています。

〈メンタルヘルスケア〉

「心の病気の未然防止」と「ストレスの早期発見」を目的とした、メンタルヘルスケアによる健全な職場づくりを推進しています。2015年度は、日ごろのストレスへの気づきと、その対処を目的に「ストレス・セルフケアセミナー」や「管理監督者向けの管理監督者基本セミナー」などを14回実施、315名が受講しました。



メンタルヘルスセミナー

●グローバル人材の育成

海外勤務意欲の高い若手従業員に対しては、公募による「短期海外赴任研修プログラム」を設置・運用しており、現在では米国、オーストラリア、ブラジル、タイに計6名の若手エンジニアが赴任しています。海外自社拠点での業務経験を通じてグローバルに活躍できる人材育成を推進しています。

VOICE



リンナイオーストラリア 戸田 雅之

生産技術部よりリンナイオーストラリアへ出向し約1年が経ちました。リンナイオーストラリアでは赴任してから新工場の量産準備の担当者として業務に携わっています。ここでは、日本で品質管理技術を行っていた経験を生かして、生産設備や作業者が良い商品をつくるため、いつも同じ動きで同じものをつくっているかを管理する方法を考え現場に反映しています。現地では日本よりも少人数で仕事するため、今までにない貴重な経験が日々充実しています。

[地域・社会とのコミュニケーション]

当社グループは、積極的、主体的かつ継続的に様々な社会貢献活動に取り組んでいます。世界各地で地域に密着した活動を展開しています。

●エコプロダクツ2015への出展

当社は、日本経済新聞社と一般社団法人産業環境管理協会が主催する環境展示会「エコプロダクツ」に2013年から出展しています。当展示会には、ビジネスパーソンや一般の方のほかに、小・中学生が社会科見学で多数訪れることが特長となっています。エコプロダクツ2015では、当社ブースにも1,500名を超える多くの小・中学生に訪れていただき、家庭でのエネルギーの使い方から当社の環境・省エネ商品開発への取り組みについて理解を深めていただきました。



●給湯器連結ラックシステムを

Camp Southern Groundに寄付

2015年8月、リンナイアメリカは本社の近隣にある約1.62km²の敷地を利用したキャンプ場「Camp Southern Ground」に給湯器3台を連結した給湯器連結ラックシステムを寄付しました。Camp Southern Groundはグラミー賞を受賞したアーティストでもあるザックブラウンが立ち上げた非営利団体プロジェクトです。7歳から17歳の子どもとその家族が健康的な生き方を学ぶことを目的としたキャンプ場です。当施設ではアスペルガー症候群、トゥレット症候群、自閉症や失読症などの子どもたちも利用できるような施設づくりを計画しています。

●従業員によるマングローブ植林活動に参加

タイには、もともと広大なマングローブ林が広がっていましたが、塩田開発やエビ養殖の影響によって減少が進み、近年、多様な生態系が危機にさらされる事象となっています。現在では、タイ政府によりマングローブ林の伐採が禁止されるなど、森林保護・生態系保護の取り組みが行われています。

リンナイタイでは、2015年8月2日にタイ産業省 (Ministry of Industry) 管轄のグリーン活動へ従業員約50名が参加し、マングローブ150本を植樹しました。



中川運河再生事業への支援



中川運河—長良橋から北を望む

当社近くに位置する中川運河近辺の再生支援を目的として、2012年度から「中川運河再生文化芸術活動助成事業(愛称:中川運河助成ARToC10、以下「アートック10」)」へ10年間、毎年1,000万円、総額1億円を寄付しています。この活動は、中川運河を舞台とする現代アートを通じてこの地域を活性化し、人々が文化芸術を楽しむために訪れたいような地域にしていくものです。支援活動も4年目となり、徐々に地域住民や地元アーティストへの認知度も上がってきており、人々が中川運河へ目を向けるきっかけとなっています。



2015年8月には中川運河に隣接する当社旧部品センターにてアートック10のPR企画「中川運河で現代アートやってるってほんと!?」が、名古屋都市センターの主催で開催されました。2015年度助成対象者の方々とアートック10事業に協力している当社を含めた地元企業が参加するトークセッションが行われました。

当社は中川区に本社を構え96年の歴史を歩んできました。中川運河への活動を通して、これまで温かく見守り、育てていただいたこの地元地域への社会貢献に取り組んでいます。



アートック10助成対象のシネマスコーレによる「Filmusic in 中川運河・夏」

映画撮影の一部は当社中部支社研修センターで行われ、地元住民とともに当社従業員も出演者として参加しました。



アートック10助成対象の伏木啓氏による映像インスタレーション+パフォーマンス「wald」

当社旧部品センターを舞台とした映像インスタレーションが行われました。期間中2日間で約340名ほどの方々にご来場いただきました。

マネジメント体制

経営の客観性・透明性を高め、社会から信頼される企業グループであることが、ステークホルダーの皆様の満足と継続的な企業価値向上につながると考えています。

[コーポレートガバナンス]

●基本的な考え方

当社では、グループ会社の競争力強化と継続的な企業価値向上の視点から、コーポレートガバナンスの強化・充実を経営上の重要課題としてとらえています。取締役会や監査役会などの機能強化を図り、様々なステークホルダーの皆様に迅速かつ正確な情報開示に努めるとともに、幅広い情報を開示することで透明性の高い経営をめざしています。

●取締役会

当社の取締役会は、経営に関わる重要な事項の意思決定と取締役の職務執行の監督を行っており、社外取締役2名を含む、取締役8名で構成され、原則毎月1回開催しています。なお、事業年度ごとの経営責任をより一層明確にし、株主の皆様からの信任の機会を増やすために、取締役の任期を1年としています。

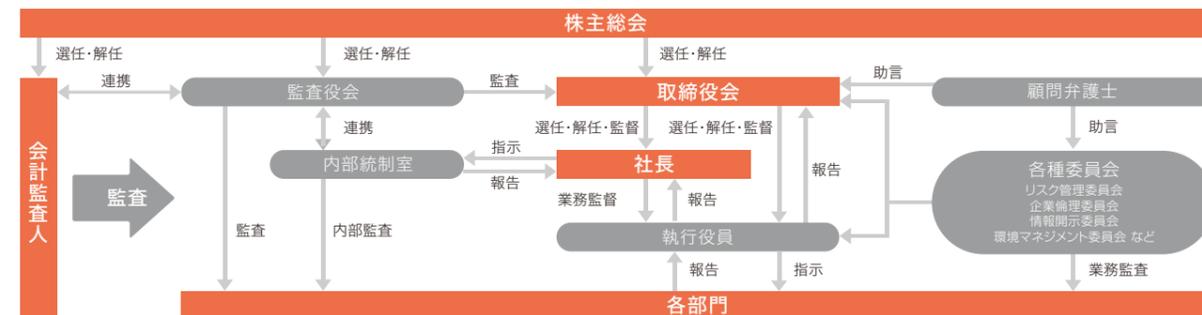
●業務執行体制

当社は、経営環境の変化に迅速に対応できる機動的な経営体制を構築するため、執行役員制度を導入しており、社長以下の取締役の一部が執行役員を兼務し、取締役会の決議内容を担当部門の管理責任者に伝え業務を執行しています。また、四半期ごとの全社経営会議および個別経営会議で経営進捗の確認と課題事項の共有化を図っています。

●経営を監視・監督する監査体制

当社の監査役会は、監査役4名で構成されており、うち2名が社外監査役です。監査役は、取締役会や重要な会議に出席し、取締役および執行組織の職務状況をはじめ、内部統制システムの整備・運用状況や本社および主要な事業所ならびに子会社における業務や財産管理の状況について監査しています。会計監査については、有限責任監査法人トーマツが会計監査を実施し、会計に関する内部統制の適法性について、第三者の立場から検証しています。

〈コーポレートガバナンス体制〉



[リスクマネジメント]

●リスクマネジメント方針

社会の複雑化などにより、企業は多様なリスクにさらされています。その中でグローバルな事業展開を推進する当社グループは、お客様や社会の信頼に応え、安定した事業活動を行うため、リスクマネジメントに取り組んでいます。

●推進体制

社長を委員長とし、執行役員・部門長などで構成される「リスク管理委員会」を定期的に開催しています。生命・信用・事業活動・財産に影響をおよぼす恐れのある重要リスクを特定し、項目ごとに主管部門を決め、未然防止の仕組みづくり、危機の早期解決、損害の最小化、再発防止などに取り組んでいます。全部門ならびにグループ会社と連携して、リスクの未然防止とリスク対応力の向上に努めています。

特定している重要リスク(例)

- 関係法令などの不遵守・違反経営のリスク
- 災害・事故による工場・建物・生産設備の倒壊・損傷のリスク
- 原材料調達活動の停止・遅延のリスク
- 環境に関わるリスク ● 情報漏洩に関わるリスク
- 基幹システム損壊のリスク ● ソーシャルメディアのリスク など

地震や風水害などの自然災害や感染症の流行・発生への対策が十分でない場合、長期にわたって操業停止に陥り、多大な損失を被ると同時にステークホルダーの皆様に大きな影響を与える恐れがあると想定されます。人々の暮らしを支える熱エネルギー機器を製造する当社としては、安定して商品を提供し続けることが社会的責任であると考えています。お客様が必要とする重要商品の生産・供給が滞る恐れがある場合に備え、事業継続マネジメントを経営上の重要課題と位置付け、国内生産部門を中心に事業継続計画(BCP)の作成・見直しに取り組んでいます。

●事業継続の推進

地震や風水害などの自然災害や感染症の流行・発生への対策が十分でない場合、長期にわたって操業停止に陥り、多大な損失を被ると同時にステークホルダーの皆様に大きな影響を与える恐れがあると想定されます。人々の暮らしを支える熱エネルギー機器を製造する当社としては、安定して商品を提供し続けることが社会的責任であると考えています。お客様が必要とする重要商品の生産・供給が滞る恐れがある場合に備え、事業継続マネジメントを経営上の重要課題と位置付け、国内生産部門を中心に事業継続計画(BCP)の作成・見直しに取り組んでいます。

[コンプライアンス]

●コンプライアンス推進体制

社会から信頼される健全な企業グループであるために、当社では2004年4月に社長を委員長とする企業倫理委員会を設置し、コンプライアンスの徹底を図っています。

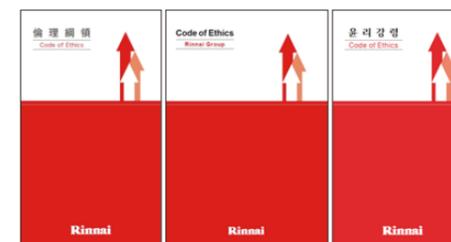
コンプライアンスへの意識を高め、全従業員が社会的責任を果たすとともに、業務に前向きに取り組む環境づくりを推進しています。

企業倫理委員会		
委員長 (社長)	委員 (各本部より選出)	事務局 (法務部)
取り組み内容 <ul style="list-style-type: none"> ・企業倫理遵守についての基本事例の策定 ・「倫理綱領」の発行 		

●リンナイグループ「倫理綱領」

リンナイグループ「倫理綱領」は、当社グループの「企業理念」と全役員・従業員が遵守すべき具体的な行動基準である「リンナイ行動規範」をまとめた小冊子です。各職場に配置された「コンプライアンス委員」が、毎年全従業員に対して「倫理綱領」の浸透を図っています。

また、海外グループ会社21社には「倫理綱領」の英語版である「Code of Ethics」を配布しています。さらに、中国、韓国などにおいては、各国の言語に翻訳したものを配布しています。各社の教育担当者が従業員に対し周知・徹底を行っています。



倫理綱領(左から日本語版・英語版・韓国語版)



倫理綱領の周知(左:リンナイベトナム 右:リンナイブラジル)

リンナイ株式会社

<http://www.rinnai.co.jp/>



この報告書は、
有害な廃液が出ない
"水なし方式"で
印刷しています。